



## 「2012年4月 通信教育部 心理学部 子ども発達教育学科 開設」

吉備国際大学では2012年4月に通信教育部 心理学部 子ども発達教育学科 (設置認可申請中) を開設いたします。

現代の日本は、晩婚化や結婚観・価値観の変化、仕事と子育ての両立が図りにくい社会環境など、さまざまな要因で、少子化に歯止めがかかりません。

通信制の子ども発達教育学科では、そうした社会状況を踏まえ、子どもの成長、発達を客観的にとらえ、子どもの健全な育成に関わる問題・課題を見極め、援助できる力を備えた“子育てのスペシャリスト”を養成します。

通信制の学びは「学びたい」という情熱を持ったすべての人が対象です。取得できる資格や免許は、保育士、幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状などになっており、“仕事をしながら保育・教育職を目指したい人” “保育・教育職でキャリアアップを考えている人” “人や地域のために保育・幼児教育・児童教育を学びたい人”などに最適です。

また、過去に大学や短期大学で学び、単位を修得している場合、取得した科目や単位数によって、2年次または3年次への編入学が**開設と同時に可能**となります。

“今”の生活や仕事をキープしながら“夢”に確実に近づくことができます。

通信教育部 心理学部 子ども発達教育学科

入学定員	1年次 100名	2年次編入学 30名	3年次編入学 30名
------	----------	------------	------------

■問い合わせ 順正学園入試広報室 (☎27178・FAX20768)



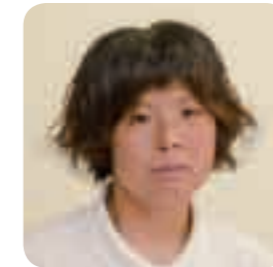
# 栄光をたたえます

文化やスポーツ活動の全国大会出場、それに準ずる成績を収めた人・団体を紹介します。

第26回ユニバーシアード競技大会2011 / <sup>しんせん</sup>深圳 (8月11日~21日・中国広東省深圳市)



杉田亜未さん(落合町近似)  
吉備国際大学2年



高橋千帆さん(頼久寺町)  
吉備国際大学3年



太田真司さん(松山)  
吉備国際大学

「組織性を大切にし、なでしこジャパンのように世界一を目指したい」

「予選結果は悪かったが、決勝ラウンドで順位を上げることができ、満足している」と4年生の梶谷尚史さん。



後列左から、梶谷尚史さん、鷹木星輝さん  
前列左から、境志泰さん、滝村尚樹さん

吉備国際大学アーチェリー部  
第50回全日本学生アーチェリー男子王座決定戦(6月25日~26日・静岡県)



森岡明菜さん(浜町)  
吉備国際大学2年

「初めて全日本の試合に出て、学ぶことが多かった。今後に生かしたい」

第40回全日本フィリッドアーチエリー選手権大会(6月18日~19日・京都府)



谷奥楓さん(落合町阿部)  
宇治高校1年  
全国高等学校校定時制通信制体育大会卓球の部(8月2日~4日・東京都)

「初めての全国大会で緊張した。大会での経験を生かして来年も頑張りたい」



山室翔子さん(川上町上天竹)  
高梁城南高校2年  
全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会(7月28日~31日・広島県)

「いつも以上の結果を出せなかったが、初の全国大会出場で感動した」



森本全昭さん(川上町地頭)  
玉野光南高校2年  
全国高等学校総合体育大会男子バレーボール競技大会(7月28日~8月1日・秋田県)

「東北地方が元気になってもらえるよう、コートの中で一生懸命頑張った」

## 「栄光をたたえます」に情報をお寄せください

市内に在住、または市内で活動し、上記に該当する人・団体の情報があればお知らせください。

■問い合わせ・連絡先  
秘書課公聴広報係  
(☎20210)



上森康司さん(川面町)  
宇治高校2年  
全国高等学校校定時制通信制体育大会陸上競技の部(8月12日~14日・東京都)

「昨年より良い結果が残せるよう、皆さんに感謝の気持ちを忘れず、練習したい」



谷奥良太さん(落合町阿部)  
宇治高校3年  
全国高等学校校定時制通信制体育大会陸上競技の部(8月12日~14日・東京都)

「今回が最後の大会。100%競技で、力が出し切れるよう全力で頑張りたい」

# 成羽病院通信

～「ロコモ」って知ってますか?～ アドバイザー・成羽病院 安田守 理学診療室長

ロコモティブシンドローム、略して「ロコモ」。このロコモという言葉をご存知でしょうか? これは加齢に伴う運動器の脆弱化を示す概念で、簡単に言うと「年を取って足腰が弱くなり、放っておくと寝たきりや要介護になってしまう」という状態です。

### ★ロコモに気づくためのロコモーションチェック

- ①片足立ちで靴下がはけない
- ②家の中でつまずいたり滑ったりする
- ③階段を上がるのに手すりが必要である
- ④横断歩道を青信号で渡りきれない
- ⑤15分くらい続けて歩けない
- ⑥2kgくらいのものを持って歩くのが困難
- ⑦掃除機や布団の上げ下ろしなどやや重い家事が困難

これらの7項目の中で1つでも当てはまるものがあれば、ロコモと判断されます。

### ★ロコモに対するトレーニング

- ◆片脚立ち ⇒ 何かにすぐつかまれる状態で一方の足を5~10cm上げて立つ(左右各1分間を1日3回行う)
- ◆スクワット ⇒ 足はかかとから30度くらい外に開いて、背筋を伸ばして腰を後ろに引くようにしながら膝を曲げる。膝がつま先より前に出ないように気をつける(1回の動作に10~12秒かけてゆっくりと5~6回行う。1日3セットを目標にする)

ロコモ対策は、高齢者の自立した健康長寿を促すと同時に、医療資源・介護資源の不足という危機を防ぐための有効かつ必要なことなので、ぜひ皆さん実践してください。

■問い合わせ 成羽病院事務局 (☎423111)